

連結経常利益目標の達成

～企業体質強化に向けた経営努力～



- 当社は、「第三次企業革新計画」で掲げた目標である、◆グループ人員の削減、◆修繕費等の管理可能コストの削減を着実に達成することにより、企業体質の強化に取り組んでまいりました。

第三次企業革新計画 - 2001年度～2005年度 -

大幅な人員効率化
とコスト削減

- ◆ グループ人員約 2,000人削減 (8,000人体制⇒6,000人体制)
- ◆ 修繕費等の管理可能コストの 20%以上の削減

組織体制の見直し

- ◆ 事業部制・執行役員制の導入
- ◆ グループ会社の再編

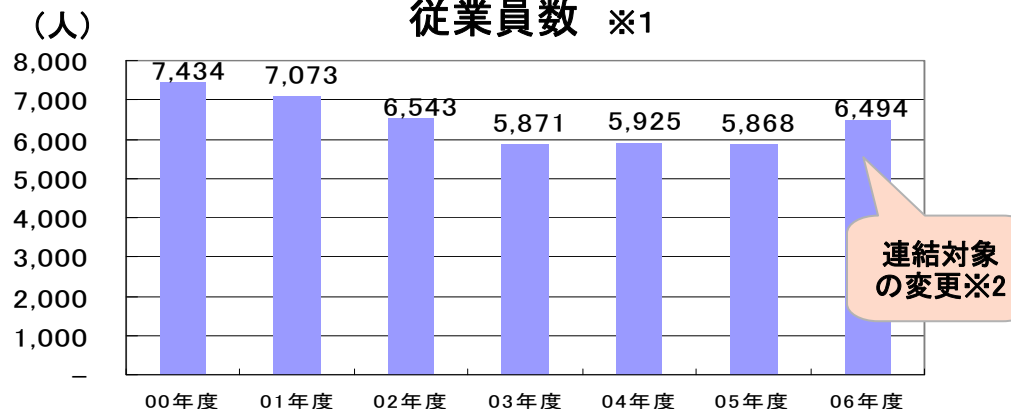
役員体制の見直し

- ◆ 取締役定数の削減

財務体質改善

- ◆ 設備投資の圧縮
- ◆ 資産効率の向上

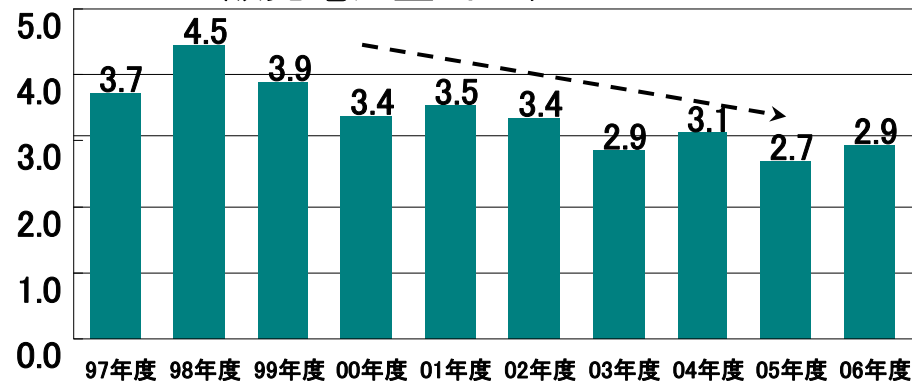
従業員数 ※1



※1 有価証券報告書上の報告値。グループ外への出向者等は上記の外数であり、これを合算すると、00年度は約7700人、05年度は約6000人となります。

※2 06年度よりグループ全連結とし、連結子会社数は20社から55社へと増加しています

販売電力量当たりO&Mコスト ※3



※3 O&Mコスト＝

電気事業営業費用－燃料費－廃棄物処理費－減価償却費

販売電力量

連結経常利益目標の達成

～収益力の持続的向上～



- 当社は「第三次企業革新計画」において策定した施策の遂行により収益力を高め、現在は、「2005～2007年度平均の連結経常利益550億円以上」という目標の達成をめざして国内外での事業活動に取り組んでおります。
- 国内卸電気事業では競争力のある料金水準を維持することで利益を創出しつつ、海外発電事業からの利益を着実に高めることで、この目標を上回る成果を得られると考えております。

経常利益推移表

